

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書		2022年 6月 27日
滋賀県知事 殿		
提出者 住 所 東京都中央区京橋2丁目2番1号 氏 名 東洋ビジュアルソリューションズ株式会社 代表取締役社長 西村 育哲 電話番号 03-3272-0714		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	東洋ビジュアルソリューションズ株式会社 守山製造所	
事業場の所在地	滋賀県守山市三宅町 436-1	
計画期間	2022年4月 ～ 2023年3月	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	化学工業（表示材料）	
②事業の規模	189億円/年	
③従業員数	210人	
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	◆引火性廃油 ・洗浄溶剤⇒中間処理業者（エマルジョン燃料化）⇒残渣（セメント原料） ・製品残液⇒中間処理業者（エマルジョン燃料化）⇒残渣（セメント原料） サンプル ・廃缶残液⇒業者にて中間処理（焼却）⇒残渣（セメント原料） ◆腐食性廃酸 ・分析排液⇒業者にて中間処理（中和）⇒固形分（セメント原料）	

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1.【廃棄物を含めたEMS・OHSMS管理体制】の通り

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
	排出量	95.97 t	0.27 t
	(これまでに実施した取組)		
	①工程での洗浄回数削減 ②工程での洗浄溶剂量削減 ③工程での洗浄溶剤再使用 ④廃溶剤を蒸留再生用原料として売却 ⑤廃溶剤を高カロリー燃料として売却		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
	排出量	43.04 t	0.27 t
	(今後実施する予定の取組)		
	①洗浄回数の削減検討 ②洗浄溶剂量の削減検討 ③洗浄溶剤再使用の検討 ④廃溶剤の有価率向上		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①洗浄溶剤の分別回収 ②高カロリー溶剤の分別回収
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みの継続及び回収率の向上を図る

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
	全処理委託量	95.97 t	0.27 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	95.97 t	0.27 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	33.21 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ①優良認定処理業者の選定 ②熱回収業者から再資源化（混合エマルジョン化）業者に変更〔有価引取〕		

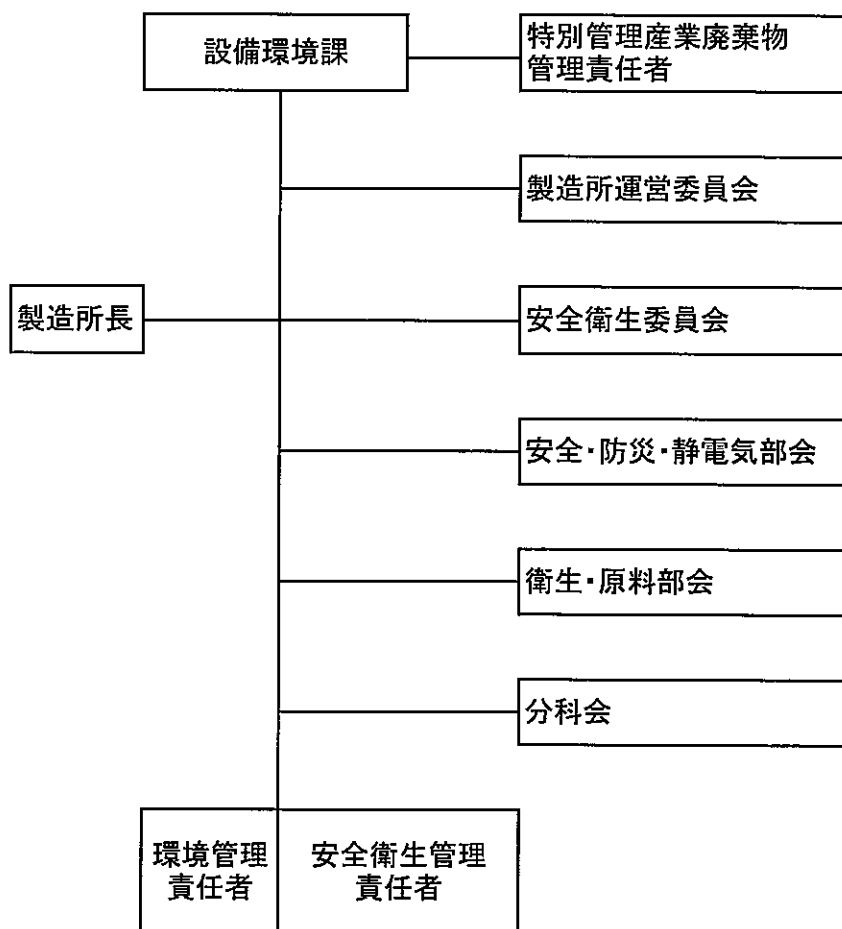
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
	全処理委託量	43.04 t	0.27 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	43.04 t	0.27 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	4.32 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への委託率維持		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度】（令和3年度）実績		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	96.24 t	
	(今後実施する予定の取組等) 令和1年4月より、紙マニフェストから電子マニフェストへ切り替え済。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

【 廃棄物を含めたEMS・OHSMS管理体制 】



製造所運営委員会で廃棄物の管理状況を審議する。

関連文書

環境マニュアル
労働安全衛生マニュアル
産業廃棄物管理規則
化学物質管理規則
環境影響評価規則
部門廃棄物関連要領